

医学、福祉研究
18件に400万円

川崎振興会助成

県内の医学、医療福祉分野の研究者らを支援する「川崎医学・医療福祉学振興会」は4日、2018年度の助成対象18件に計約400万円を贈った。

倉敷市松島の川崎学園で贈呈式があり、園尾博司理事長が代表者に承認書と目録を手渡した。助成を受けた一人一人が研究内容を説明し「社会へ還元できる成果を出せるよう力を尽くしたい」などと抱負を述べた。

振興会は03年に設立以来、今回を含め26

4件に計約7120万円を贈っている。18年度は36件の申請があった。

助成を受けたのは次の皆さん。(敬称略、地域連携・交流は代表者と事業名)

【教育研究】松本佳則、上田真史(岡山大学院) 辻尚子(川崎医科大学) 松本准(岡山大) 奥井達雄(岡

山大病院) 吉村学、木場美里(川崎医科大学付属病院) 池野雅裕、末廣忠延(川崎医療福祉大) 藤本久貴、山本五弥子、瀨本真一(川崎医科大学)

【地域連携・交流】平本美津恵(医療安全研修) 平田早苗(看護セミナー) 秋山隆(日本病理学会中国四国支部会第19回病理学夏の



園尾理事長(右)から承認書と目録を受け取る代表者

学校) 阿部泰昌(県地域包括ケアシステム学会研修会)

【国際教育・研究交流】樋田一徳、長谷川徹(川崎医科大学)

(安部晃将)